太陽のてがみ

てがみには、住所・氏名・年齢・職業を記入してください。（広報掲載時に氏名は載りません。）なお、ひぼう・中傷や営利を目的とする内容は掲載しません。

庶路・西庶路コミュニティバスの路線について

70代・女性

町内コミュニティバスの運行は、町民にとって、とてもありがたいことだと感謝しています。しかし、庶路・西庶路方面から白糠行きコミュニティバスへ乗車しても、くしろバスの路線と同じような停留所で降車しなければならず、降車してから病院や役場、コープさっぽろなどの目的地まで歩くのは困難です。歳をとり車の運転ができなくなった場合、通院等が困難となります。また、白糠のコミュニティバスへ乗り換えをしたら料金が倍かかります。夫婦だとさらに倍になります。

もしかしたら、必要としている方は少ないのかもしれませんが、接続できない理由を教えてください。検討していただきたく、よろしくお願いします。

お答えします

いつもコミュニティバスをご利用いただきまして、ありがとうございます。町内のコミュニティバスの運行の経過につきましては、茶路沢・庶路沢を運行していたバスの廃止や見直しに伴い、町として町民皆さまの足の確保、さらには地域と市街地とを結び、人と人との交流を図ることを目的として、地域の代表者や各公共交通事業者、さらには国の機関等で組織する「白糠町地域公共交通活性化協議会」を組成し、バス停の位置や運行ルート、料金など、町民の皆さまが利用しやすい運行となるよう、さまざまな角度から2年間検討を重ねると共に、アンケート調査や実証運行をした中で、各病院や公共施設、商業施設などの乗降を優先的に選定し、平成30年4月から運行を開始したところです。

運行開始から4年目を迎え、今回の意見も含めて、町民皆さまから要望や意見をいただいていますので、協議会で見直しも含めて検討することとしています。内容が決まり次第、広報紙などでお知らせしたいと考えていますので、ご理解をお願いします。

〈町民サービス課〉

茶路沢のバスにはフクロウ、庶路沢のバスにはシシャモのキャラクターが描かれています。

白糠駅を2階建てにしてはどうでしょうか

90代・男性

いよいよ駅前整備に着手するようですが、「駅の2階建て」を考慮するよう提案します。

市街は鉄道を挟んで南北に開けており、中心部には跨線橋を渡って往来しています。それがゆえに駅裏になる橋北、橋西方面も含めた北側地区の発展、建物構造に変化が見られ、人や自動車の流れも煩雑になってきたように感じます。

現在の跨線橋は屋根がないので、風雨の日は大変です。また破損も早く、大部分が傷んでおりひどい状況です。駅を2階建てにすることにより、このことが解決するということと、「冬期間の危険度がなくなる」「鉄道関係の除雪が少なくなる」「地震や災害時等の際に緊急避難所に活用できる」「待合所のほか、いろいろな活用が考えられる」「海上に沈む夕日の見晴らしがいい」というメリットがあります。

お答えします

駅前広場の整備につきましては、町営バスターミナルの老朽化に伴い、JR白糠駅との合築により駅前広場全体が白糠らしい「まちの顔」となるよう、民間のノウハウやアイデアを取り入れながら、複合施設としての検討を進めているところです。

いただいた意見につきましても、今回の複合施設整備と跨線橋の改修を一体的に整備する計画で検討していきますので、ご理解をお願いします。

（町民サービス課）

JR白糠駅横の跨線橋も老朽化していますので、一体的に整備する計画で検討していきます。

町議会の全面オンライン議会化を

40代・男性

国民一人一人が個人レベルで行っている感染対策に効果があるのなら、行動制限緩和後に感染が拡大することはないと思います。

町議会における感染対策も個人レベルで行うのではなく、全面オンライン議会にしてはどうでしょうか。

全面オンライン化にしてしまえば、議場に集まる必要がなく、安心できると思いますし、障がい者であっても議場を改装しなくて済みます。将来的に、役場が改築となったときも議会関連施設は不要になりますので、建築費もその分安くなると思います。

個々の安全対策よりも、人が多く集まることが感染リスクの主因なので、公共施設も閉館しているのでしょう。さまざまな経験を多く蓄積してきた重責を担う方々を感染から守るため、議会の全面オンライン化を真剣に検討してほしいと思います。

お答えします

町議会でのオンラインの活用につきましては、令和2年4月、新型コロナウイルス感染症対策として、「地方議会の委員会の開催方法」について、総務省から通知があり、同年7月にその具体的な内容が示されました。

その中では、議場で行う本会議は、地方自治法の規定により、オンラインの活用は認められていません。一方、委員会は本会議の予備的審査、調査機関であり、設置が自治体の条例によることから、参集が困難と判断される実情がある場合、オンラインの活用は差し支えないとしています。

また、オンラインでの委員会は、新型コロナウイルス感染症対策だけではなく、大規模災害時、議員の病気や介護などの事由への活用も可能となっています。

これらを踏まえ、白糠町議会では委員会でのオンラインの活用に向けて、町との協議を進めると共に、環境整備や議員研修などに取り組んでいきたいと考えています。

〈議会議長〉

感謝の手紙

70代・男性

棚野町長をはじめ、職員の皆さんには、日頃から町民の命と生活を守るために、さまざまなことに取り組んでいただいていることに感謝を申し上げます。特にこのたびは、特定健診について感謝を申し上げたいと思います。

6月に夫婦で「特定健診＋脳ドック」を受診しました。その結果、妻に脳動脈瘤が見つかりました。もし、今回受診していなかったらどうなっていただろうか、妻の命と家族の生活が一変していたであろうことを考えると…。

手術はこれからですが、とにかく私たちの感謝の気持ちを伝えたくて、太陽のてがみを出しました。繰り返しになりますが、町民の命と生活を守りたいとの思いで、町政の舵をとっておられる棚野町長と、各分野で努力されている職員の皆さんに敬意を表すとともに、感謝を申し上げたいと思います。本当に、本当にありがとうございました。